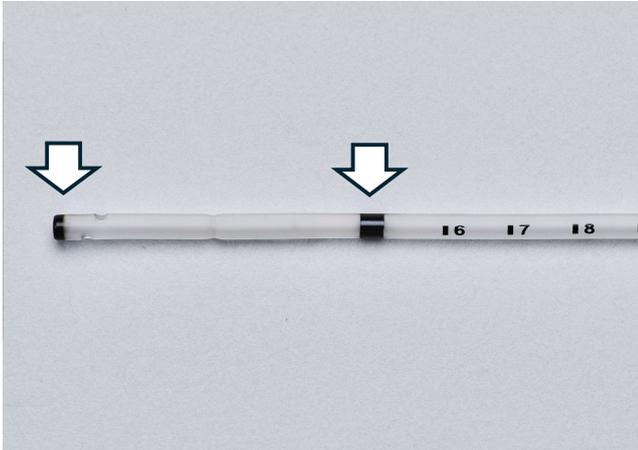
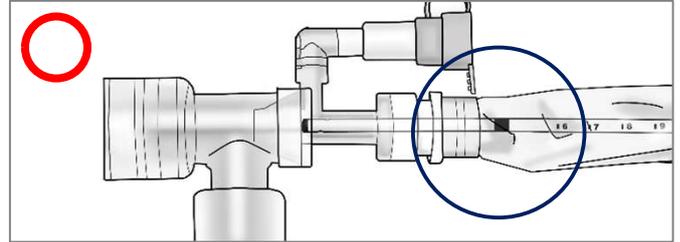


※ご使用に当たっては必ず電子添文をご一読ください。

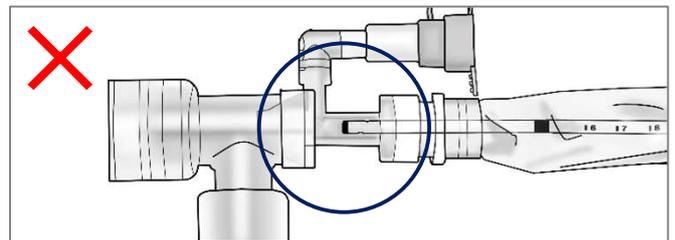
マーカースの見方



先端と先端から5cmに全周性のマーカースを付与しております。



先端から5cmのマーカースがスリーブ内に戻ってきたら引き戻しながらの吸引を止めてください。先端のマーカースは少し見える位置に留めてください。



先端のマーカースがはっきり見えるようだと引きすぎです。

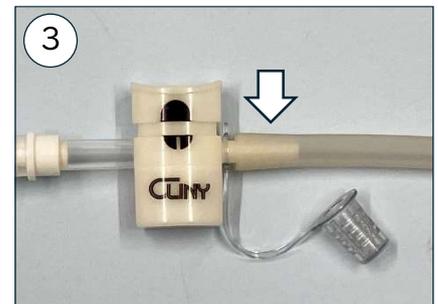
準備



使用している気管チューブもしくは気管切開チューブに合わせて適切なサイズを選択する。

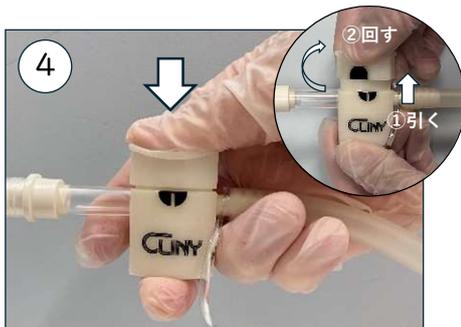


洗浄ポートのキャップが閉まっていることを確認する。



吸引チューブ接続ポートを吸引器のチューブに取り付ける。

※一般的には、気管チューブもしくは気管切開チューブの内径の1/2以下のサイズを用いることが推奨されております。



コントロールバルブのロックを180°回転させ解除し、コントロールバルブを押したまま吸引圧を適切な圧力になるまで調整する。



コントロールバルブを再度180°回転させロックし、本品を呼吸器回路と気管チューブもしくは気管切開チューブとの間に接続する。

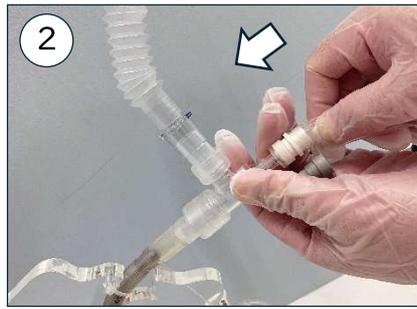


コントロールバルブに曜日シールを貼付する。

吸引

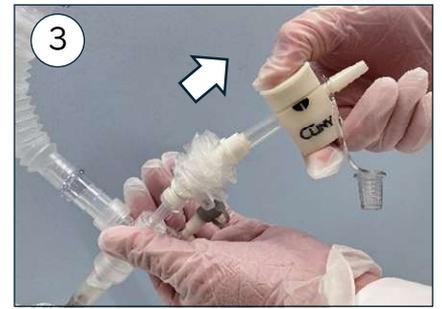


コントロールバルブのロックを180°回転させ解除する。



片方の手で患者側端ダブルスィベルコネクタを持ち、もう一方の手でゆっくりと気管チューブもしくは気管切開チューブの適切な深さまで挿入する。

※ カテーテルを挿入する際は、吸引しながら挿入しないでください。



コントロールバルブを押しながら、吸引を開始する。黒いマーカが元の位置（先端は洗浄ポートの下、5 cmマーカはスリーブ内）に戻るまでゆっくり引き戻しながら吸引する。この時、必要に応じて吸引動作を繰り返す。

※ 一般的に、吸引の全工程が10～15秒を超えないようにし、実際の陰圧持続時間は1回の処置当たり5～8秒を超えないことが推奨されております。



本品の黒いマーカが元の位置まで戻っていることを確認した後、コントロールバルブを押すのを止め、コントロールバルブを180°回転させロックする。

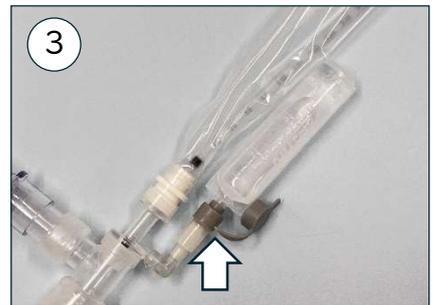
使用後の洗浄



吸引カテーテルを洗い流すための滅菌水または生理食塩液（以下、洗浄液という）のシリンジまたはボトルを準備する。



コントロールバルブのロックを180°回転させ解除する。



洗浄ポートのキャップを開けて、洗浄液のシリンジまたはボトルを接続する。



吸引カテーテルの黒いマーカが元の位置にあり、十字弁が閉まった状態であることを確認する。洗浄液等、目に見える液体が全て除去されるまでコントロールバルブを押しながら洗浄を行う。



洗浄液のシリンジまたはボトルを外し、洗浄ポートのキャップを閉める。



コントロールバルブを180°回転させロックする。

販売名
医療機器認証番号
製造販売業者

トラクトキープ
306AIBZX00005000
ディーマー・メディカル・ジャパン株式会社

販売元



クリエートメディック株式会社